



小諸に**元気**と**誇り**をとりにどす！

～3年9カ月の軌跡・こもろ未来プロジェクトを振り返る～

小諸市長 小泉 俊博

平成28年4月に小諸市長に就任してから約3年9カ月が経過しました。

多くの市民の皆さま、市職員、さらには市外の方々にもご支援ご協力をいただきながら、全身全霊で小諸市政の運営に取り組んでまいりました。心から感謝申し上げます。

私はこの間、市政運営にあたりいくつかのことを心がけてきました。今回は次の3点についてお話しします。

まず、「**真の市民協働の推進**」です。少子高齢化・人口減少社会の進行に伴い、財政的にも人材的にも行政の限界があり、魅力あるまちづくりのためには市民協働は不可欠です。愛する小諸のために持てる力を発揮くださるよう訴えてきました。少しずつではありますが確実に自ら立ち上がり行動される市民や団体の方々が増えてきたと実感できるようになってきました。とても心強く、ありがたいことです。

次に埋もれていた「**小諸の財産を最大限活用すること**」です。一例としてシティプロモーション（自治体が行う広報宣伝・営業活動）や高地トレーニング等は、多額の費用をかけなくても創意工夫により、市内外で話題となり大きな効果を上げることができました。小諸にはまだまだ活用しきれていない財産があるので、今後も多くの皆さんのお力を借りながら市の発展に繋げていきたいと考えています。

最後に「**未来への投資**」です。小諸市が将来にわたり持続可能な自治体であり続けるために、今何をしなければいけないのかを常に考え、様々な施策において「種蒔き」をしてきました。次世代を担う子どもたちのための教育施設の充実は勿論、農・商・工・観など産業振興策、人口減少社会を見据えた複合施設の整備事業などが主なものです。これらは必ずや将来の小諸の発

展につながるものと自負しています。

さて、以上のようなことを心がけつつ、多くの皆様のご支援ご協力の下、市政運営にあたってきました。お陰様で4年前の選挙時に発表した私の政策集である『こもろ未来プロジェクト』の中でお約束しました施策は、概ね着実に進めることができました。

今回の小泉としひろ後援会報では、『こもろ未来プロジェクト』の進捗状況を振り返りたいと思います。

結びに残された任期も全力で小諸市政の運営に取り組んでまいります。後援会員の皆さまのご支援ご協力をよろしく願います。



【こもろ未来プロジェクト（基本政策）】

【基本姿勢】

- 1. 民間の発想と着眼点で「ワクワク」する市政を創り、行動します。**
送り手である「官」から、受け手である住民主体の「民」の発想へ。柔軟でスピード感のある着眼点で取組み、戦略的かつ効率的な市政運営を進めます。「ワクワク」するような新しいかたちの「こもろ市政」を創り、誠実に行動します。
- 2. 地域の課題解決に「市民とともに協働」で取り組みます。**
「地域のみなさんの持つチカラ」を活かし、行政がそれを増幅していくことが、真の意味での「強い地域づくり」につながると考えます。身近な課題に市民の皆さんと一緒に取組み、地域の力の向上に努めます。また、努力して頑張っている人や団体、企業を応援する小諸市を創り、まち全体に元気をとりもどします。
- 3. 財政官産学、「中央との太いパイプ」を市政戦略に活かします。**
財政官ならびに産学との連携、そして相互享受をこれまで以上に強化します。自身における過去の経験とネットワーク（人脈）をフルに活用し、中央の政治家・公共団体・大手企業・大学・文化人等とコミュニケーションや互助関係を形成し、中央との太いパイプを市政戦略に活かして小諸市の力に変えます。

【5つの柱】

1. 市役所の改革と健全財政 「しせいを正す」
2. 自治会と市政の連携強化 「絆」
3. 市民が幸福を実感できる市政を実現 「笑顔」
4. 産業振興と起業・就農支援 「攻める」
5. 観光・ブランド活性に向けた情報戦略 「ワクワク」

【実行に向けての方針】

- ① 新規事業であっても既存人材や資産の活用、市民の参加によって費用支出を極力抑える
- ② テレビ番組、新聞記事、インターネット等の費用のかからない無料媒体の徹底活用
- ③ 客観的な「数値」設定を心掛けることにより、「見える化された」目標達成度検証

（小泉としひろ政策集「こもろ未来プロジェクト」2016.2.12発表より）

市政3年半の軌跡（2016.4～2020.1）～市長選挙時に発表した「こもろ未来プロジェクト」の進捗状況～

【凡例： ・タイトルは「こもろ未来プロジェクト」に掲げた5つの柱 ・●印は具体的政策として掲げたもの ・囲みは主な取組み実績について説明】

1. 市役所の改革と健全財政 「しせいを正す」

- 財政の健全化と「小諸ふるさと市民」（仮想市民10万人）の創設等による税収アップ
- 行政手続の迅速化と「残業ゼロ」を目指します
- 各種事業と各種帳簿類の「再点検」と「管理体制の再構築」
- 各種審議会・委員会での市民の提言を大切に、市政に反映させます
- 女性幹部職員や各種審議会・委員会の女性の比率を向上

ふるさと納税は、
金額で**50.5倍！**
（就任前/679万→
1月現在/3億4300万）



超過勤務時間削減
-12.81% (H29→H30、
約3200時間減)
「働き方改革推進本部」
の設置→業務改善

<主な取組み実績>

- ・「戦略的で効率的な行政経営の推進」に関する実行計画を策定し、行財政改革を推進
- ・小諸ふるさと市民実績：3682人（R2.1月15日）、各種プロモーション・事業により関係人口の増加を図る
- ・アウトソーシングの推進（ごみ収集、図書館管理、上水道事業などの指定管理による一部業務委託） ※アウトソーシング＝業務を外部の専門業者などに委託すること
- ・ネーミングライツなどを活用して、民間の協力を得て新たな財源の確保
※ネーミングライツ＝公共施設の名前を付与する命名権と付帯する諸権利のこと
- ・税金滞納に関する差押件数と換価額 H28:102件3,536千円→H30:140件5,533千円
- ・トータルシステムのシステム見直しと運用改善 ※トータルシステム＝計画・予算・決算・評価を連係させた仕組み
- ・行政評価による事業の見直し（改善・廃止）
- ・市民団体等との広聴事業、職員とのランチミーティングの開催
- ・女性幹部候補となる係長級以上比率（H27 19.8%→H31 23.8%）
- ・審議会・委員会等の女性参画率 目標45%に対しH31.4現在40.4%

2.自治会市政の連携強化 「絆」

- 「地域担当職員制度」の導入・強化
- 「伝統行事応援隊」の設立
- 新たな文化や伝統の創出を支援します
- 自治会の見直し
- 郷土愛の醸成

「区と行政の関係に関する規則」の施行

- ・再編規模の目安
- ・区と行政の関係の明確化 など



「音楽のまち・こもろ」プロジェクトの実現と推進

- ・子ども作曲コンクール
- ・ミニコンサートの実施
- ・市民音楽家の支援 など

<主な取り組み実績>

- ・全職員が参加する地域職員連絡会を強化。また10地区毎に地域連絡会の正副会長を市長が任命する
- ・区長が担う審議会等の精査、配布物の減量化
- ・「小諸ふるさと遺産」の実施
- ・SNSやコミュニティテレビこもろの番組を活用した「小諸ふるさと遺産」の紹介
- ・小中学生向け副読本「小諸ストーリー」「小諸アート」を作成

3.市民が幸福を実感できる市政を実現 「笑顔」

- 「健康長寿日本ーこもろ」を目指す～高齢者福祉の充実
- ライフステージに応じた健康づくりを推進します
- 婚活事業の支援 ●子育て支援・家庭教育支援
- 特別支援教育の充実 ●早期からの教育相談・支援の充実を図ります
- 災害に強い町づくり ●基礎学習の充実 ●生涯学習の支援
- 小学校建替えに向けた議論 ●スポーツの振興

高校生までの福祉医療費を窓口無料化実現

【現物給付方式】

子どもの福祉医療費の給付方式が変わりました

病院等の窓口で500円を支払うことで医療を受けることができます。



高地トレーニングの推進

- ・8団体による協議会運営
- ・トップアスリートを招致



<主な取り組み実績>

- ・「こもろ健幸マイレージ」「こもろ健幸応援団」事業の開始 ※マイレージ=ポイント制度
- ・フレイル（虚弱）予防訪問指導事業の開始
- ・第3次健康づくり計画、第2期国民保険事業実施計画の策定
- ・特定検診受診率 H25：34.5%→H29：39.7%
- ・貸与型奨学金に加え給付型奨学金「小諸あさま奨学金」を設立し給付開始
- ・子どもセンターで保健師、助産師による育児相談
- ・特別支援教育専門家の研修による指導者育成
- ・早期療育支援のため児童発達支援及び放課後デイサービス充実
- ・危機管理課の創設 ・消防庁舎の移転新築
- ・防災訓練の見直し（R元：61/68区、実施率：89.7%）
- ・教育環境の整備（野岸小管理棟整備、ICT環境、エアコン配備など）
- ・小諸未来プロジェクト教育編の策定
- ・子どもチャレンジ講座（親子で英語合宿・料理教室）の開催
- ・小諸キャンパス構想（大学フィールドワーク支援、小諸未来義塾の開催）の実施
※フィールドワーク=野外など現地に行き行う調査・研究活動
- ・「小諸市長期学校改善計画検討会」「学校教育審議会」による議論
- ・スポーツ課の創設 ・トップアスリートと子どもたちの交流事業

4.産業振興と起業・就農支援 「攻める」

- 中小企業支援の充実 ●6次産業（1次×2次×3次）のさらなる推進
- 新規就農者の支援と遊休農地の活用 ●女性が活躍できる職場づくり
- 若者や女性のUIターン施策の充実 ●産業人材の育成
- 「小諸ふるさとブランド」の立ち上げ
- “食”をテーマにしたフードテーマパークをつくります
- 「産」・「学」・「官」協働での産業振興

起業家の発掘・支援

- ・夢アワード(若者、女性の発掘)
- ・就業・創業移住支援助成金新設
- ・UIターン企業面接会開催

小諸ブランドの推進

- ・アグリシフトプロジェクト
- ・東京・大阪トップセールス
- ・米・食味コンクール招致 など



<主な取り組み実績>

- ・小諸市中小企業振興条例の新設 ・融資あっせん規則の全面見直し
- ・工場等立地促進助成金制度の全面見直し
- ・千曲川ワインバレー特区協議会で広域ワイン振興と観光振興
- ・信大・産学官連携事業を農業分野に拡大
- ・ジャム工業組合と連携した「ジャムの日」により農業文化のブランド化を推進
- ・「小諸ワイン委員会」を設立し、小諸産ワインの魅力を発信
- ・新規就農者や若手農業者の経営安定につながる優良生産地造成に向けてのプロジェクト設置
- ・女性幹部候補である係長級職員の代表者に「キャリアアップ研修」開催
- ・女性が輝く社会実現のための「こもろ女性会議」を開催
- ・市のホームページに移住専門「移住定住ポータル」開設
- ・佐久管内初となるJA佐久浅間との包括連携協定締結
- ・信大と経営、技術革新、農商工連携等に関するセミナー（勉強会）を開催
- ・「あぐりの湯」に併設された農産物発信拠点施設の拡充とメニュー等見直し
- ・有害野生鳥獣（ニホンジカ）を活用したペットフード加工販売事業

5.観光・ブランド活性化に向けた情報戦略「ワクワク」

- 戦略的な情報発信・収集を行う「こもろ情報部局」を設置します
- 知名度向上・観光客誘致のためのPR動画作成
- 官民協働による「こもろ観光局2020」を設置します
- しなの鉄道との連携強化・市民バスの浅間山麓共同運行

シティプロモーション

- ・情報戦略推進係の創設
- ・PR動画やプレスリリースなど情報戦略による効果



小諸駅バリアフリー化

- ・しなの鉄道との連携強化
- ・車両入替に伴う支援



<主な取り組み実績>

- ・「情報戦略推進係」を創設し、情報発信、情報収集の取組みを強化
- ・こもろ観光局を設立し、観光振興、インバウンド対応等を進める
※インバウンド=訪日外国人旅行
- ・高地トレーニングでトライアスロンのアメリカ、ドイツチームの誘致活動を行う
- ・こもろ観光局において、しなの鉄道を利用した軽井沢から小諸への利用者向け優待パスポートによる集客
- ・「ワイナリーバス」「こもろ巡りバス」等の巡回バスを運行し、観光客の交通手段の確保を図る

6.その他の実績

複合型施設基本計画の策定及び商業テナントの決定(R3秋完成予定)

- ・高齢社会や子育て支援に対応する利便性の高い複合施設を計画

- 病児・病後児保育施設
- 高齢者福祉センター
- ボランティアセンター
- ファミリーサポートセンター
- コミュニティバスターミナル
- 公共駐車場

